

事業収支

(様式2)

台東館

単位:円

(1)収入		年度計画	実績	差引増(△)減	対計画比(%)	備考
利用料金収入	展示室	268,811,000	272,802,600	3,991,600	101.5	
	会議室	5,544,000	4,678,225	△ 865,775	84.4	
	附帯設備	16,029,000	14,669,325	△ 1,359,675	91.5	
	臨時供給(電気・水道・産廃)	0	695,742	695,742	0.0	
	小計	290,384,000	292,845,892	2,461,892	100.8	
自主事業収入	消火器貸出	53,000	23,100	△ 29,900	43.6	
	コピー・Faxサービス	148,000	56,970	△ 91,030	38.5	
	インターネット貸出	930,000	1,390,000	460,000	149.5	
	プロジェクター貸出	428,000	440,000	12,000	102.8	
	課金式パソコン	13,000	4,900	△ 8,100	37.7	
	長机	127,000	102,720	△ 24,280	80.9	
	携帯電話充電器	34,000	24,000	△ 10,000	70.6	
	コインロッカー	0	0	0	0.0	自動返金式
	小計	4,319,000	5,172,666	853,666	119.8	
指定管理事業 計(i)		294,703,000	298,018,558	3,315,558	101.1	
指定管理料収入	特殊要因の指定管理料(ii)	0	0	0	0.0	
受託料収入	合同庁舎共用部分(ii)	84,996,000	72,726,284	△ 12,269,716	85.6	
合計(A=i+ii+iii)		379,699,000	370,744,842	△ 8,954,158	97.6	
【業務改善に向けた分析】						
1. 利用料収入(自主事業除く)は計画比+2,461千円(+0.8%)の着地。						
2. 展示室の日中稼働率60%の計画に対し、実績60.8%(+0.8%)と若干ではあるが計画を上回った。また、前年対比ベースでは+4.6%と改善された。要因として昨年度利用があった先の規模拡大や営業広報が奏功し、小口利用先による平日の空室を埋めていたことが寄与したことによるもの。R7については、利用事業者の高齢化を鑑み、館の現在の態様にマッチする事業者や立地・アクセスに魅力を感じる事業者の掘り起こし等の新たな利用者の開拓等の営業広報活動を行っていく。また一方で、建物の老朽化(築56年)を考慮した安全安心な館運営を心掛けていきたい。						

単位:円

(2)支出		年度計画	実績	差引増(△)減	対計画比(%)	備考
①東京都納付額		48,485,000	49,251,589	766,589	101.6	
②産業貿易センターの管理運営業務		257,662,000	248,630,355	△ 9,031,645	96.5	
人件費	正規職員	0	0	0	0.0	
	正規職員以外の職員	72,662,000	68,962,954	△ 3,699,046	94.9	
	小計	72,662,000	68,962,954	△ 3,699,046	94.9	
事業費	光熱水費	36,976,000	32,758,427	△ 4,217,573	88.6	
	建物管理業務(設備運転・監視)	29,146,000	29,601,000	455,000	101.6	毎年固定
	建物管理業務(警備)	20,949,000	21,403,800	454,800	102.2	毎年固定
	建物管理業務(清掃業務)	20,756,000	24,742,876	3,986,876	119.2	毎年固定
	建物管理業務(環境管理業務)	624,000	637,815	13,815	102.2	毎年固定
	定期点検及び保守	28,555,000	27,690,232	△ 864,768	97.0	毎年固定
	通信費	2,874,360	1,551,418	△ 1,322,942	54.0	毎年固定
	公租公課	7,341,000	7,492,194	151,194	102.1	毎年固定
	その他経費	36,409,640	32,647,396	△ 3,762,244	89.7	
	小計	183,631,000	178,525,158	△ 5,105,842	97.2	
自主事業費	使用料賃借料(コピー機リース料等)	1,369,000	563,436	△ 805,564	41.2	
	租税公課	0	398,274	398,274	0.0	
	その他経費	0	180,533	180,533	0.0	
	小計	1,369,000	1,142,243	△ 226,757	83.4	
指定管理事業 計(i)		306,147,000	297,881,944	△ 8,265,056	97.3	
③合同庁舎の共用部分等の管理業務(ii)		85,292,000	72,726,284	△ 12,565,716	85.3	
人件費	正規職員	0	0	0	0.0	
	正規職員以外の職員	12,699,000	11,772,410	△ 926,590	92.7	
	小計	12,699,000	11,772,410	△ 926,590	92.7	
事業費(保全管理費)	光熱水費	18,285,000	17,534,302	△ 750,698	95.9	
	建物管理業務(設備運転・監視)	13,094,000	13,299,000	205,000	101.6	
	建物管理業務(警備)	9,411,000	9,616,200	205,200	102.2	
	建物管理業務(清掃業務)	1,392,000	1,683,524	291,524	120.9	
	建物管理業務(環境管理業務)	202,000	209,185	7,185	103.6	
	定期点検及び保守	7,614,000	7,676,967	62,967	100.8	
	通信費	0	3,504	3,504	0.0	
	公租公課	1,016,000	1,132,736	116,736	111.5	
	その他経費	4,835,000	2,860,536	△ 1,974,464	59.2	
	小計	55,849,000	54,015,954	△ 1,833,046	96.7	
事業費(工事費)	工事請負費	16,744,000	6,937,920	△ 9,806,080	41.4	
合計(B=i+ii)		391,439,000	370,608,228	△ 20,830,772	94.7	
【業務改善に向けた分析】						
1. 指定管理事業						
(1) 光熱水費が想定より下回ったことや経費削減を館一体となり取り組んだ結果、計画比▲8,265千円(97.3%)に着地。						
2. 管理運営事業(合同庁舎の共用部分等の管理業務)						
(1) 工事請負費の差引減は、設備等の予防保全に努めた結果である。						

(3)収支差額 (収入(A)－支出(B))	△11,740,000	136,614	11,876,614			
-----------------------	-------------	---------	------------	--	--	--

事業収支

(様式2)

浜松町館

単位:円

(1)収入		年度計画	実績	差引増(△)減	対計画比(%)	備考
利用料金収入	展示室	433,089,000	514,160,650	81,071,650	118.7	
	会議室	40,381,000	46,542,300	6,161,300	115.3	
	附帯設備	18,465,000	21,675,186	3,210,186	117.4	
	その他雑収入	0	1,213,960	1,213,960	0.0	
	小計	491,935,000	583,592,096	91,657,096	118.6	
自主事業収入	臨時供給(電気・水道・産廃)	1,416,000	2,167,064	751,064	153.0	
	消火器貸出	38,000	47,250	9,250	124.3	
	インターネット貸出	4,956,000	7,454,000	2,498,000	150.4	
	プロジェクター貸出	8,796,000	5,116,000	△ 3,680,000	58.2	
	携帯電話充電器	3,000	4,967	1,967	165.6	
	コインロッカー	72,000	189,015	117,015	262.5	
	自動販売機	2,754,000	4,581,599	1,827,599	166.4	
	通訳機器	50,000	0	△ 50,000	0.0	
	オンライン配信機器	2,304,000	48,000	△ 2,256,000	2.1	
	テレワークブース	144,000	158,400	14,400	110.0	
	企業広告紙	1,440,000	0	△ 1,440,000	0.0	
	支援サービス	480,000	0	△ 480,000	0.0	
小計	22,453,000	19,766,295	△ 2,686,705	88.0		
指定管理事業 計(i)	514,388,000	603,358,391	88,970,391	117.3		
指定管理料収入(ii)	0	0	0	0.0		
受託料収入	施設保全管理運営業務(iii)	28,042,000	15,120,030	△ 12,921,970	53.9	
合計(A=i+ii+iii)		542,430,000	618,478,421	76,048,421	114.0	

【業務改善に向けた分析】

1. 利用料収入(除く自主事業)は、展示室・会議室利用が順調に稼働した結果、対計画比91,657千円増(118.6%)となった他、前年度実績についても上回った。(R5年度利用料収入:568,658千円(102.6%))
2. 稼働率は、計画56.4%(9-21時)、71.3%(9-17時)に比し、実績65.7%(9-21時)、81.5%(9-17時)で目標達成した。

単位:円

(2)支出		年度計画	実績	差引増(△)減	対計画比(%)	備考
①東京都納付額		115,051,000	151,644,271	36,593,271	131.8	
②産業貿易センターの管理運営業務		386,553,000	387,081,212	528,212	100.1	
人件費	正規職員	79,408,000	72,808,993	△ 6,599,007	91.7	
	正規職員以外の職員	0	2,554,109	2,554,109	0.0	
	小計	79,408,000	75,363,102	△ 4,044,898	94.9	
事業費	光熱水費	146,200,000	146,200,000	0	100.0	
	建物管理業務(設備運転・監視)	2,807,000	1,185,360	△ 1,621,640	42.2	
	建物管理業務(警備)	34,979,000	34,978,680	△ 320	100.0	
	建物管理業務(清掃業務)	45,076,000	42,672,960	△ 2,403,040	94.7	
	建物管理業務(環境管理業務)	288,000	286,440	△ 1,560	99.5	
	定期点検及び保守	17,408,000	15,723,840	△ 1,684,160	90.3	
	その他建物管理費	1,440,000	1,599,840	159,840	111.1	
	情報システム管理費	11,900,000	9,036,225	△ 2,863,775	75.9	
	通信費	3,349,000	2,922,414	△ 426,586	87.3	
	広告宣伝費	3,000,000	1,916,900	△ 1,083,100	63.9	
	公租公課	9,898,000	16,369,113	6,471,113	165.4	
	その他経費	20,021,000	26,245,509	6,224,509	131.1	
小計	296,366,000	299,137,281	2,771,281	100.9		
自主事業費	貸出機材費(リース料等)	8,646,000	6,965,508	△ 1,680,492	80.6	
	イベント開催費	75,000	339,965	264,965	453.3	
	その他経費	2,058,000	5,275,356	3,217,356	256.3	
	小計	10,779,000	12,580,829	1,801,829	116.7	
指定管理事業 計(i)	501,604,000	538,725,483	37,121,483	107.4		
③施設保全管理運営業務(ii)		28,042,000	15,120,030	△ 12,921,970	53.9	
人件費	正規職員	6,157,000	6,430,872	273,872	104.4	
	正規職員以外の職員	0	0	0	0.0	
	小計	6,157,000	6,430,872	273,872	104.4	
事業費 (保全管理費)	建物管理業務(警備)	770,000	1,183,032	413,032	153.6	
	定期点検及び保守	1,406,000	935,000	△ 471,000	66.5	
	その他建物維持管理費	2,800,000	296,670	△ 2,503,330	10.6	
	工事請負費	7,200,000	429,000	△ 6,771,000	6.0	
	情報システム改修費	6,000,000	3,782,900	△ 2,217,100	63.0	
	公租公課	690,000	685,720	△ 4,280	99.4	
	その他経費	3,019,000	2,288	△ 3,016,712	0.1	
	一般管理費	0	1,374,548	1,374,548	0.0	
小計	21,885,000	8,689,158	△ 13,195,842	39.7		
合計(B=i+ii)		529,646,000	553,845,513	24,199,513	104.6	

【業務改善に向けた分析】

1. 指定管理事業
 - (1) 公租公課費の対計画比増の6,471千円は、稼働率向上による利用料収入増に伴う消費税支出の増によるものである。
 - (2) その他経費の対計画比増の6,224千円は、主に利用者増に伴う衛生消耗品等の購入増や貸出音響設備等の修繕費用の増によるものである。
2. 施設保全管理運営事業(受託事業)
 - (1) 工事請負費の対計画比減の6,771千円は、設備機器等の予防保全に努めた結果によるものである。

(3)収支差額 (収入(A)－支出(B))	12,784,000	64,632,908	51,848,908	505.6	
-----------------------	------------	------------	------------	-------	--